

【併願可】 エキスパート入学試験

エキスパート入学試験とは、志願する学科・領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。

なお、エキスパート入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

募集学部・学科・領域・コース

芸術学部・芸術学科・全領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

- 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
 - 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - 文部科学大臣が指定した者
 - 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
- ※(6)で出願しようとする場合は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで申し出てください。
- 外国において、次のいずれかの資格を2024年または2025年に取得した者
 - スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から大学入学資格として認められている国際バカロレア資格
 - ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格または、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
 - 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③その他、個別提出書類

※③は各コースの選抜方法に記載

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	選抜方法*
声乐コース	リサイタル形式のコンサートの実施 (300点)
鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)	
弦管打コース	
ウインドアカデミーコース	
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	2つ以上の音楽ジャンル作品を組み合わせた パフォーマンスの実施(30分程度・300点)
ダンスパフォーマンスコース	受験者自身がプロデュースしたパフォーマンスの実施 (30分程度・300点)
声優アクティングコース	
サウンドメディア・コンポジションコース	作品提出(合計30分程度)および口頭で説明 (15分程度・300点)
ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	受験者自身が企画制作したプロジェクトの 報告書提出および口頭で説明 (15分・300点)
音楽ケアデザインコース	臨床即興演奏(3曲程度)および口頭で説明 (演奏20分+説明約10分・300点)
音楽総合コース	上記いずれか1つのコースの課題を選択(300点)

※ 詳細内容については、[「選抜方法詳細2（音楽領域）」](#)（エキスパート入学試験）をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	事業企画 (45分・100点)	+	資料作成(45分)および プレゼンテーション(約10分)(100点)	+	個人面接 (約15分・100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①は、企画のためのワークショップに参加し、グループあるいは個人で舞台芸術に関する事業を企画します。

※ワークショップのファシリテーターは教員が担当します。

※企画に向けた必要情報収集のための資料(紙媒体、情報機器端末*)、プレゼンテーション資料作成のための情報機器端末*の持ち込みを許可します。

(注意: ネットワーク接続環境および電源は大学のものを使用できませんので各自準備すること)

選抜方法②は、①で企画した内容の資料を作成しプレゼンテーションをします。

※プレゼンテーションでパソコンからデータを出力する場合は、プロジェクターとスクリーンを本学で用意します。

※プレゼンテーション資料を紙媒体で作成する場合は、ペンとスケッチブック等を本学で用意します。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①では、コミュニケーションを取りながらリーダーシップを発揮したり、チーム内の調整を図ったりする能力、論理的かつ独創的な思考、他者や社会全般に対する理解力や創造力を重視します。

選抜方法②では、考えたことをわかりやすくまとめ、論理的に表現する力を重視します。

選抜方法③では、批判的思考で自己を見つめる力を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③情報収集、資料作成に必要な資料および情報機器端末*(任意)

* 情報機器端末: パソコン、タブレット、スマートフォン等

総合型選抜

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	小論文(800字程度) (60分・100点)	+	基礎デッサン (180分・100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーションおよび個人面接 (約20分・100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①は、美術に関する設問

選抜方法②のモチーフは1点

選抜方法③は、3年以内に制作した自己作品3点を当日持参すること。また、3年以内に制作した作品のポートフォリオを出願時に提出すること。

〈選抜ポイント〉

各選抜方法で判定された内容を総合的に判断して評価を行います。

選抜方法①は、美術を学ぶための知識と意欲が備わっているか。

選抜方法②は、基礎的な技術を備え、自分の考えを効果的に描写するための表現力が備わっているか。

選抜方法③は、作品制作や制作への想いについて、説得力のある内容であるか。また、美術に関する制作や研究に対して目標意識や熱意を持っているか。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③描画用具一式 ④自己作品3点 ⑤ポートフォリオ

※デッサンの画用紙は本学で用意します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	大学入学志望理由書 (50点)	+	デザインに関する講義聴講による課題 (270分・150点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション および個人面接 (約30分・100点)

〈個別提出書類〉

大学入学志望理由書(任意様式)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①は、A4用紙3枚程度を出願書類提出時に提出すること。

選抜方法②は、講義を聴き、それに基づいた考え方や提案を図や言葉で表現します。

選抜方法③は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(A3またはA4サイズ)を当日持参すること。

※ポートフォリオは対外的な活動報告をより重視します。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①では、これまでの活動(制作物や社会活動など)、本学の明確な志望理由として、本学の特徴を理解し、入学後の大学生活で実現してみたいこと、身につけたいこと、卒業後のビジョンが示されているかを判断します。

選抜方法②では、講義内容の理解力、要約力、問題発見力、問題解決能力を判断します。

選抜方法③では、自分の考えや制作物に込められた意図を相手に伝えるためのプレゼンテーション能力を判断します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③ポートフォリオ

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選抜方法①		選抜方法②
リベラルアーツコース	レポート (講義受講(20分) + 文章読解(20分) + レポート作成1000字程度(60分) (200点)	+	プレゼンテーション (発表後の質疑応答含め 1名20分)(100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①の「講義受講」「文章読解」では、日本の大学を志す受験者として相応しい基礎学力と日本語の読解力・聞き取り力をみることを想定しています。日本の高校までの教育で身につけるべき語彙や基礎学力を備えていれば理解可能な講義内容や、読解可能な文章です。

選抜方法②の「プレゼンテーション」では、レポートの内容をわかりやすく整理した上で、聞き手に正しく理解してもらえるように的確に説明できるかどうかをみることを想定しています。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①の「講義受講」「文章読解」では、複雑な物事を把握する力、「レポート作成」では、自分の頭で考え独創的に発想し、それを表現する力をそれぞれ重視します。

選抜方法②では、プレゼンテーションにおける表現力を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具